

ときがわ森林インストラクターの森活動報告

活動日 2023年10月8日(日) 薄曇り

内容 下刈り、除伐

参加者 星野、池田、横山、芳野、田崎、近江 (計6名)

報告者 近江

6名の参加。いつものメンバーである。少ないね。淋しいね。森作りはなかなか進まない。

まずはカツラの甘い香りの中をウッドデッキまで作業道具を荷揚げする。

本日は2班に分けて下刈りと除伐。

熊避けスプレーとピストルを携帯してスタートした。

人里近くに動物たちが流れてきている・・・。

作業中、野うさぎが走り鹿も鳴いていた。

自然環境が悪くなっている・・・ということなのか・・・。



秋の森は実りの季節。クリの木も元気。

「イガ」をたくさん落としていた。

アブラチャンはたわわに実をぶら下げ、

イヌザンショウも実をつけ頑張っていた。

カツラは黄ばんできたが紅葉はまだ先のようなのだ。

下刈りしたツツジは元気に育っていた。 ---->

下刈りは地味でくたびれる作業だが重要。

下刈りが行き届かないツツジがあるが手が回らない。

ツツジに旅立ちが終わった鳥の巣があった。

この森は毎年同じではない。毎年変化を感じている。

シモバシラが今年も花をつけていた。

本日も少数だが・・・男たちは頑張っていた。

ウリの葉が見守っている森づくり

